

平成30年度全国学力学習状況調査より

～ 結果・分析・対策 ～



平成30年9月

日南町立日南中学校

平成30年度全国学力学習状況調査より

～ 結果・分析・対策 ～

日南町立日南中学校

実施日	平成30年4月17日(火)	
対象	全国の中学校3年生全員 (日南中23名)	
実施問題	国語A、国語B、数学A、数学B、理科	
	※ A問題：知識を測る問題	B問題：活用力を測る問題

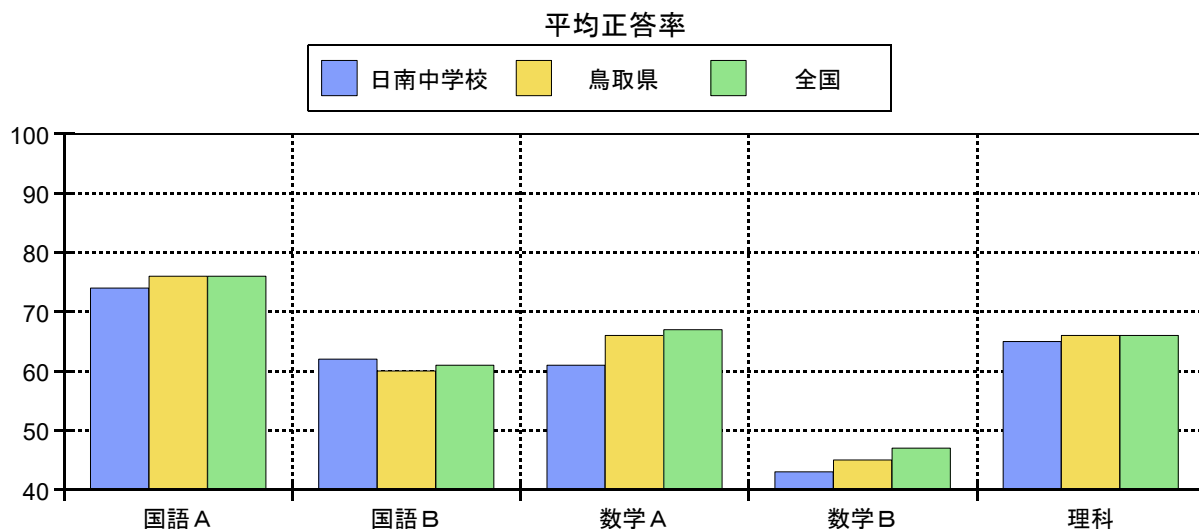
I 身につけさせたい力・資質として(学校重点目標より)

- 基礎・基本の徹底による学力の定着と向上
- 一人ひとりの個性の伸長
- 特色ある特色ある教育活動の展開
- 豊かで健やかな心身の育成と鍛錬
- 社会の変化に対応・順応できる能力の育成



pixta.jp - 22496040

II 教科の学力状況について(学力調査より)



【国語】

A問題においては県平均・全国平均を-2ポイント程度下回りましたが、B問題においては+2ポイント程度上回りました。

A問題においては、『言語についての知識・理解・技能』領域が特に低い傾向にありました。言葉の意味、慣用句、敬語など日常でも用いる語彙の不足や不定着が課題であるといえます。

また、『読むこと』領域に関しては、例年、平均との格差が大きくあり課題となっていますが、「文脈の中での語句を意味を理解する」「段落の役割をとらえ内容を理解する」などの読み方のポイントが平均値を上回る結果となっています。

B問題では県平均・全国平均を上回り、『読むこと』領域では、「文章の構成や展開、表現の仕方を読み取り、自分の考えを持つ」、「登場人物の言動などの意味を考えて理解に役立てる」という観点では、県・全国平均正答率を+10ポイント程度上回る正答率でした(小学校6年生時：-7~-13ポイント)。『活用できる学力』を測るB問題において、全体的に県平均・全国平均と同等になってきたことは、一定の成果ととらえられると思います。

【数学】

A問題では－5ポイント、B問題では－3ポイント程度、県平均・全国平均を下回りました。

小学校6年生時の調査では、県・全国平均と比較してA問題：－2ポイント、B問題－7ポイントの差があり、依然として苦手意識が強い傾向にあります。依然として「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」の観点において、ポイントの格差が大きい設問(解答)があります。領域では『関数』・『資料の活用』において課題が見られます。

しかし、「無回答率」、「記述式の回答の正答率」が向上傾向にあり、最初からあきらめたりせず、問題を解こうとする姿勢が少しずつできてきています。

得点分布を見ると、A問題では上位(中間)層と下位層との二極化、B問題では、上位層は少なく下位層が比較的多いという分化が見られました。生徒数も少ないため、平均点や中央値だけで生徒の学力を単純に判断することはできませんが、個々の結果からさらに課題の捉えが必要だと考えられます。

【理科】

A問題(知識に関する問題)、B問題(活用に関する問題)ともに、県平均・全国平均より－1ポイント程度下回りました。

第1分野(物理・化学)では県・全国平均を上回り、第2分野(生物・地学)では、やや下回るという結果でした。

自然事象への興味関心・意欲・態度は＋10ポイント程度高く、知識や理解も平均値以上であり、理科に関する知識、技能、活用能力は安定しているものと思われます。理科への興味関心が学習へ向き合う姿勢や結果に反映されるように、継続した指導が必要です。

◆学力の状況に関する質問紙調査の回答結果(抜粋)より

(55)国語の解答時間は十分でしたか?(A B平均) (57)数学の解答時間は十分でしたか?(A B平均)

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	▲82.7	17.3
鳥取県	86.7	13.3
全国	87.3	12.7

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	▲76.1	23.9
鳥取県	80.8	19.2
全国	82.5	17.5

(59)理科の解答時間は十分でしたか?

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	▲82.6	17.4
鳥取県	91.1	8.9
全国	92.3	7.7

(52)課題解決に向けて自分から取り組みたいですか? (53)自分の考えが伝わるよう発表をしていますか?

%	肯定的選択	思わない
日南中学校	●86.9	●0.0
鳥取県	76.8	4.4
全国	73.8	5.3

%	肯定的選択	全くしない
日南中学校	56.5	●8.7
鳥取県	54.9	11.8
全国	53.8	12.5

(27)数学の勉強は好きですか?

%	肯定的選択	嫌い
日南中学校	●65.2	●8.7
鳥取県	52.3	18.4
全国	53.9	19.5

(28)数学の勉強は大切だと思いますか?

%	肯定的選択	思わない
日南中学校	●95.7	●0.0
鳥取県	85.1	3.5
全国	83.6	4.7

(31) 数学であきらめずに解き方を考えますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 91.3	● 8.7
鳥取県	71.9	28.1
全 国	70.3	29.6

(34) 数学でもっと簡単に解く方法を考えますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 86.9	● 13.0
鳥取県	66.1	33.9
全 国	69.2	30.7

(38) 理科の勉強は好きですか？

%	肯定的選択	嫌い
日南中学校	● 78.2	8.7
鳥取県	62.1	13.1
全 国	62.9	12.9

(39) 理科の勉強は大切だと思いますか？

%	肯定的選択	思わない
日南中学校	● 87.0	● 0.0
鳥取県	73.7	6.8
全 国	70.0	8.1

(40) 理科の授業内容はよくわかりますか？

%	肯定的選択	わからない
日南中学校	● 91.3	● 0.0
鳥取県	68.0	6.9
全 国	70.0	7.1

(43) 理科の勉強は将来に役立つと思いますか？

%	肯定的選択	思わない
日南中学校	● 73.9	4.3
鳥取県	59.0	12.3
全 国	55.7	14.4

上記の回答結果の●からは、学習への意欲や興味関心は高いことが伺えます。その他、学習に対する設問には、比較的肯定的な回答が多く見られます。しかし、結果としての点数（正答）に結びついていないことを考えると、一時的な興味関心や記憶を持続・定着させること（短期記憶から長期記憶への変換）が必要です。学校では、毎日のPT（パワーアップタイム）を継続的に行い、一定の効果が表れ始めていると捉えています。さらに学習の仕方を定着させたり、家庭学習の習慣化につなげる方策をさらに丁寧に徹底させたいと考えています。

(14) 平日（月～金曜日）に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか？（塾も含む）

%	3時間以上	2時間以上	1時間以上	30分以上	30分以下	全くしない
日南中学校 (人数：約)	8.7 (2.3人)	▲ 0.0 (0人)	▲ 43.5 (11.3人)	▲ 47.8 (12.4人)	● 0.0 (0人)	● 0.0 (0人)
H29年度	0 (0人)	12.5 (3.3人)	25.0 (6.5人)	25.0 (6.5人)	25.0 (6.5人)	12.5 (3.3人)
鳥取県	6.1	24.9	38.4	17.9	8.3	4.4
全 国	10.5	25.9	34.2	16.6	7.9	4.9

(10) 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか？

%	している	どちらかと言えばしている	あまりしていない	全くしていない
日南中学校 (人数：約)	17.4 (4.5人)	39.1 (10.2人)	34.8 (9.0人)	8.7 (2.3人)
鳥取県	17.4	37.1	35.0	10.6
全 国	16.6	35.5	34.8	13.0

(12) 家で、学校の授業の予習・復習をしていますか？

%	している	どちらかと言えばしている	あまりしていない	全くしていない
日南中学校 (人数：約)	▲ 8.7 (2.3人)	34.8 (9.1人)	▲ 52.2 (13.6人)	● 4.3 (1.1人)
鳥取県	13.2	34.1	38.2	14.4
全 国	18.2	37.0	31.6	13.1

(16) 放課後に何をして過ごすことが多いですか？

%	部活動	勉強・読書	地域活動	学習塾	習い事	スポーツ	TV・ゲーム・ネット等
日南中学校	95.7	▲0.0	4.3	▲4.3	13.0	17.4	●17.4
鳥取県	91.7	42.6	2.5	34.4	12.1	18.9	73.3
全国	82.2	42.2	2.3	42.1	17.7	21.6	77.3

%	家族と過ごす	友達と遊ぶ
日南中学校	▲17.4	▲13.0
鳥取県	47.9	26.2
全国	50.2	36.9



家庭学習の時間については、▲に示したように県や全国と比較すると、まだまだ不足している現状が捉えられます。しかし前年比で見ると校内では家庭学習の時間が少し増えている状況も見られます。要因の一つには、PTプリントなど家庭学習の内容ややり方が生徒の中で明確化、具体化されつつあることも考えられます。今後も毎日放課後に実施しているPT（パワーアップタイム）、テスト前のLPT（ロングPT）の学習課題を、繰り返し家庭での学習につなげる取り組みを定着させることが大切だと考えています。また、教師側としては、PTの内容をさらに吟味・洗練させていく取り組みを進めています。ただ、まだ「予習」ということまでには至っていませんが、まずは「復習」の徹底が第一だと考えています。

また、(16)の回答からも家庭学習（学習塾等も含め）が不足している現状がうかがえますが、バス通学による面もあると感じます。『(17) 週末には何をして過ごしますか？』という設問に対して、「勉強・読書」、「学習塾」が県・全国平均を+10ポイント以上上回っていることから、平日のハンディキャップを休日に取り返そうという努力も認められます。

家庭でも学習課題として「PTプリント」などがあることを知っていただいて声かけをしていただいたり、家庭での過ごし方についてのルールや約束事を子どもと一緒に考え、生徒と一緒に家庭での学習の様子や過ごし方を考えていただくことが大切だと思います。

(1) 自分にはよいところがあると思いますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	82.6	17.4
鳥取県	79.9	20.1
全国	78.8	21.2

[小6の時の同じ質問項目への回答]

%	肯定的選択	否定的選択
小6年当時	83.3	16.7
鳥取県	75.9	24.0
全国	76.4	13.6

(3) 将来の夢や希望を持っていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	●82.6	17.4
鳥取県	71.3	28.6
全国	72.4	27.4

[小6の時の同じ質問項目への回答]

%	肯定的選択	否定的選択
小6年当時	83.3	16.7
鳥取県	84.9	15.0
全国	86.5	13.4

(4) 学校の規則を守っていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	●100.0	0
鳥取県	95.5	4.4
全国	95.1	4.8

(5) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	●100.0	0
鳥取県	95.7	4.3
全国	95.5	4.5

自尊感情や自己有用感は、さまざまな体験や活動の中で生まれ、成功体験として積み重ねられることで定着するものです。自分自身を肯定的に捉えたり、前向きに捉えたりすることは、小学校から継続的に育まれています。「ともいき科」など特色のある中学校の教育活動において、さらに自主性や積極性の伸長、自己有用感の高揚につなげていくことが大切であると考えています。

学校行事等での取り組みや、その結果から感じる満足感や達成感などの積み重ねが、学校生活を落ち着かせ、学力向上へも効果的な相互作用となっていることを感じます。「学力」と「人間力」の向上が学校教育の両輪であると考えています。

Ⅲ 学校・家庭生活状況について [質問紙調査及び学校アンケート★の回答結果 (抜粋) より]

★学校で楽しく過ごせていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 95.2	4.8

★授業を集中して受けていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 100.0	0.0

(18) 家の人 (兄弟姉妹は除く) と学校の出来事について話をしますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	82.6	17.3
鳥取県	76.1	23.6
全 国	76.0	23.5



(16) 放課後に何をして過ごすことが多いですか？

%	部活動	勉強・読書	地域活動	学習塾	習い事	スポーツ	TV・ゲーム・ネット等
日南中学校	95.7	▲0.0	4.3	▲4.3	13.0	17.4	●17.4
鳥取県	91.7	42.6	2.5	34.4	12.1	18.9	73.3
全 国	82.2	42.2	2.3	42.1	17.7	21.6	77.3

%	家族と過ごす	友達と遊ぶ
日南中学校	▲17.4	▲13.0
鳥取県	47.9	26.2
全 国	50.2	36.9



今年度は学校生活に関する設問が減りましたので、比較対照がしにくいですが、1学期に行った校内アンケート★では、概ね肯定的な回答が多い傾向にありました。多くの生徒が友達との人間関係も良好で、(3)「将来の夢や希望を持っていますか？」での肯定的回答82.6%となっているのと合わせて、前向きな学校生活を送っていると考えられます。

設問(16)と設問(18)にある「家族との関わり」について、生徒の捉え方が気になります。思春期・心の成長期でもある中学生ですので、友達とのトラブルがあったり、一人で悩みを抱えたり、大人(家族や教師)と一定の距離をとったりすることもあるのは、ある意味では当然

のこととも言えます。それをどのように乗り越える（乗り越えさせる）のかが、この時期のとても大切な学び・体験だと思います。学校、家庭ともにサポート体制、連携、共通理解を図りながら、生徒の自立・自律・協調性を育ててやるのが大切だと思います。

学校においては教育相談を充実させたり、SC（スクールカウンセラー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）などの心理や医療との連携が図れる体制も整えています。保護者の方からの相談も受け入れていますので、安心してご相談下さい。

(7) 朝食を毎日食べていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 95.6	4.3
鳥取県	94.4	5.4
全国	91.9	8.0

(9) 毎日同じくらいの時間に起きていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 95.6	4.3
鳥取県	91.4	8.7
全国	90.3	9.7

(8) 毎日同じくらいの時間に寝ていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 87.0	13.0
鳥取県	78.5	21.4
全国	74.2	25.5



例年の傾向として、朝食の摂取、起床、睡眠といった規則正しい生活は概ねよい傾向にあると言えます。ただし、前段でも挙げたように、家庭での学習時間が短く、テレビやビデオ、DVDの視聴時間やゲーム、インターネット、メールをする時間（平日は県・全国に比べて非常に低いです。週末は平均並みに約80%の生徒が多く時間を費やしています。）が、県や全国より若干長いこととの関係性を考えると、家庭での有効な時間の使い方、計画性が大きな課題とも言えます。

また、(15)「授業以外にどれくらい読書をしますか？」という設問に対して、「1時間以上」という生徒が約22%（県・全国平均約15%）、「全くしない」生徒が4.3%（同約30%）とややよい傾向も表れています。全国の調査から、生活習慣や読書週間と学力には相関関係があることが証明されています。したがって、本校においても望ましい生活習慣の徹底について引き続き取り組んでいきたいと考えています。

(20) 地域の行事に参加していますか？

%	肯定的選択	全くしない
日南中学校	● 85.6	● 0
鳥取県	53.6	20.5
全国	45.6	26.4

(21) 地域や社会の問題や出来事に興味がありますか？

%	肯定的選択	全くない
日南中学校	69.5	4.3
鳥取県	60.6	11.0
全国	59.3	12.5

(26) テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか？

%	肯定的選択	全く見ない
日南中学校	● 100.0	● 0
鳥取県	87.3	3.7
全国	86.6	4.1

(22) 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか？

%	肯定的選択	全く思わない
日南中学校	● 52.2	8.7
鳥取県	37.2	20.9
全国	38.7	21.7

(19) 授業や課外活動で地域のことを調べたり地域の
人と関わったりする機会はあったと思いますか？

%	肯定的選択	全くない
日南中学校	● 91.3	● 0
鳥取県	70.4	7.8
全 国	67.7	9.2

例年、地域行事への参加や地域との関わりは高い傾向にあります。しかし、生徒数の減少、高齢化は各地域（旧小学校区）でも進んでおり、地域でのそれぞれの世代の関係性が以前とは大きく変化してきている事実もあります。生徒たちにとって、学校での教師、地域での大人がどのように関わっていくかが、生徒の人間性や社会性の育成に大きく関わってくると思います。

近年では、「ともいき科」として京都大学留学生との交流、シアトル市中学生との交流、また町としての海外派遣事業も行っています。英語や海外に対する興味は徐々に高まっていると感じますし、最初のチャレンジ（例えば会話をする積極性、間違ってもよいという感覚、一人でも何とかしようとする気持ちなど）も徐々に抵抗感が薄くなっていると感じます。

また、中学生としていかに地域に貢献できるか、地域の中でいかに中学生の存在と価値を見いだせるかを考えながら、学校行事や体験活動の取り組みをすすめ、さまざまな体験から生まれる感動や達成感、充実感が感じられる教育活動を重視しています。

社会に出て生きて働く『コミュニケーション力（会話・交流）』・『コラボレーション力（協力・協調）』・『プレゼンテーション力（表現・創造）』の育成に努めていきたいと思っています。



IV 日南中学校における学力向上に向けた対策（取り組み）

日南中学校の教育目標『ふるさとに学び、夢に向かい、生き生きと輝く生徒の育成』の達成に向けて、「学習活動」・「育心活動」・「健康安全活動」の視点から、以下のような取り組みを継続的に進めています。昨年度から、P TやL P Tの徹底と充実を図り、今年度はさらにその定着度を高めたり、内容の充実を図ったりしています。

生徒たちの日々の状況や今年度及び過去の調査等から分析される日南中の課題などを参考にしながら、小学校とも協働して継続的に取り組んでいるものもあります。



【学習活動】

(1) 授業改善

次のような授業をめざし、小学校とも連携を図りながら研修を行い、生徒にとってわかりやすい（「わかる」）実感の持てる授業の工夫・改善に取り組んでいます。

- 分かったことを友だちに説明することで理解をさらに深めることができる授業
- 自分の考えを説明しきるような発表を重視した授業
- I C T機器を利用して興味・関心を喚起し、理解を一層図る授業
- 誰にとってもわかりやすい授業（目標の明確化、予定の提示、板書の工夫等）
- 学習事項がより定着する授業（小テスト、前時の振り返り、宿題等）
- ペアリング（関わり合いながら隣同士で聴き合える学習）を基盤にした授業

(2) 学習習慣の定着・学習内容の充実

家庭学習の習慣の未定着、家庭学習の時間の不足が大きな課題です。毎日の積み重ねや家庭での学習を明確に（何をしたらよいのかをはっきりさせる）するために具体的に取り組んでいます。

○P. T（パワーアップタイム）の充実 15:30～16:00

5教科に限定して、毎日30分間、教師が作成した課題（定期テストに出題される内容）に取り組んでいます。日々の学習の積み重ねの習慣化と効果の実感（定期テストでのポイントを確認）をねらいとしています。内容をさらに洗練させています。

○L. P. T（ロングパワーアップタイム）の充実 15:30～16:20

定期テスト前の部活動停止の際に、P. Tの時間を延長して取り組みます。各自でテスト勉強の計画を立て、教師への質問や教え合いなどをしながら進めます。

○アフタースクール 16:30～18:00

自学自習を原則としますが、定期テスト前、または3年生は放課後に残って学習を続けるように勧めています。自宅では集中力に欠ける、友達に教えてもらいたい、先生に質問したいなど、学習意欲の実践化、学習効果の向上を図っています。

○テスト勉強計画の作成（計画・実行・修正）

テスト勉強で自分がすべき教科、内容、時間、方法を自分で立てます。P. TやL. P. Tの日程を考えたり、テスト範囲にピンポイントで対応する課題を示すことにより、一人ひとりがより明確で、具体的な学習を進めることができます。

○家庭学習がんばるウィークの設定

定期テスト前などの一定期間を「がんばるウィーク」と設定し、集中的に家庭学習をすすめる啓発活動を行っています。家庭や地域でも積極的にご協力を頂きたい取り組みです。

【育心活動】・【ともいき科】

(1) 仲間づくり

各学年単学級となる現状の中で、小学校からつながる人間関係・仲間関係を順調に、円滑に、上手に活かせる仲間づくりを進めています。

○学校行事の活用した企画力・運営力

体育祭、文化祭を通して生徒の自主性、積極性を養います。その中で縦割りのつながりや学級・学年のつながりを体感し、よりよい仲間づくりを進めます。

○発表の場で活かすプレゼンテーション力・コラボレーション力

あらゆる機会をとらえて、自分の考えや気持ちを多くの人の前で話すことができる力、表現力の育成に努めます。日常生活の中でも臆せずに話したり、接したりできることが自信にもつながると感じています。

(2) 自尊感情・自己効力感・自己肯定感の高揚

「自分にはよいところがある」「他者から認められていると思う」という思いが少しずつ向上しつつあります。さまざまな場面を通して、自信を持たせたり、喜びを感じさせたりすることが、よい成果・効果につながると考えています。



【健康安全活動】

(1) 規則正しい生活習慣の育成

生活習慣と学力には相関関係があります。食事、睡眠、余暇の過ごし方、学校生活の過ごし方など、学校においても望ましい生活習慣の徹底について引き続き取り組んでいきます。

○生活習慣がっちりWEEK・生活習慣アンケート

学習や良好な人間関係の基礎となる生活習慣をしっかりと身につけるために、朝食や睡眠について、自分の生活を点検します。

○教育相談活動

一人ひとりの生徒の実態把握に努め、信頼関係を築いた上で、生徒の悩みや困り感に寄り添った支援が大切だと考えています。